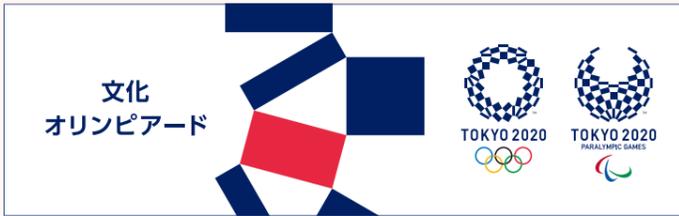
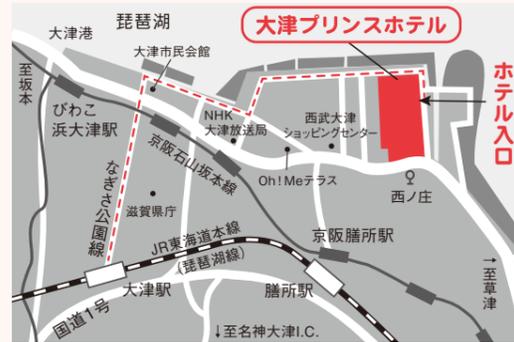


《問い合わせ》
障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会
 [事務局:社会福祉法人グロー(GLOW)~生きることが光になる~]
 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2
 TEL 0748-46-8100 / FAX 0748-46-8228

《会場アクセス》びわ湖大津プリンスホテル
 滋賀県大津市におの浜4-4-7 ☎077-521-1111



【障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会 構成団体】

- 01.(社)福愛成会(東京都)/02.(社)明日へ向かって(福岡県)/03.(社)福いのみ福祉会(島根県)/04.(社)グロー(GLOW)(滋賀県)/05.(社)南高愛隣会(長崎県)/06.(社)はる(佐賀県)/07.(社)みんなでいき(新潟県)/08.(社)ハッ岳水会(山梨県)/09.(社)ゆうかり(鹿児島県)/10.(社)ゆうゆう(北海道)/11.(一社)日本精神科看護協会(全国組織)/12.(特非)DPI日本会議(全国組織)/13.(特非)鳥の劇場(鳥取県)/14.(特非)脳損傷友の会高知 青い空(高知県)/15.(特非)バリアフリー映画研究会(東京都)/16.(特非)楽笑(愛知県)/17.湖南ダンスワークショップ実行委員会(滋賀県)/18.2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク(構成団体は末尾)/19.(一社)卓球で日本を元気にする会(東京都)/20.滋賀県/21.島根県/22.鳥取県/23.長崎県

【2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク 構成団体】

- ①(社)日本身体障害者団体連合会 ②(公)全国脊髄損傷者連合会 ③(社)日本盲人会連合 ④(一財)全日本ろうあ連盟 ⑤(一社)全国肢体不自由児者父母の会連合会 ⑥(社)全国重症心身障害児(者)を守る会 ⑦全国手をつなぐ育成会連合会 ⑧(公財)日本知的障害者福祉協会 ⑨(特非)全国地域生活支援ネットワーク ⑩(公)全国精神保健福祉会連合会 ⑪(一社)日本精神科看護協会 ⑫(一社)日本自閉症協会 ⑬(一社)日本発達障害ネットワーク ⑭全国社会就労センター協議会 ⑮(特非)DPI日本会議 ⑯全国社会福祉法人経営者協議会 ⑰全国身体障害者施設協議会 ⑱(特非)日本相談支援専門員協会 ⑲(一社)日本精神保健福祉事業連合 ⑳(一社)全国児童発達支援協議会 ㉑(一社)全国知的障害児者生活サポート協会 ㉒(公財)日本ダウン症協会 ㉓(特非)バリアフリー映画研究会 ㉔(社)全国ろう者協会 ㉕(社)日本肢体不自由児協会 ㉖(特非)手話ダンスYou&I ㉗(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 ㉘(一社)HAND STAMP ART PROJECT

「ナント公演」2019年2月23日(土)・24日(日)
 フランス国立現代芸術センター・リュウ・ユニック

「パリ公演」2019年2月27日(水)・28日(木) パリ日本文化会館

湖南ダンスカンパニー (パリ公演出演)

ジェネシスオプエンターテイメント (パリ公演出演)

障害者の舞台芸術をフランスから世界に発信
 2018 ジャポニスム 2018 響きあう魂 公式企画

障害者の優れた舞台芸術公演をフランスのパリとナントの二都市から世界に発信します。パリ公演は、障害者による「プロの和太鼓集団「瑞宝太鼓」、今回の「優れたパフォーマンスが全国から集結！」にも出演する「湖南ダンスカンパニー」、車いすダンスグループ「ジェネシスオプエンターテイメント」が出演します。また、「2017 ジャパン×ナントプロジェクト」の共催者であるフランス国立現代芸術センター・リュウ・ユニックからの再演要請を受け、「瑞宝太鼓」はナント会場でも公演を行います。

なお、本公演は、日本の文化の魅力をフランス・パリ市を中心に、大々的に紹介する複合型文化芸術イベント「ジャポニスム2018」の公式企画として位置づけられています。



主催：文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会
 [ナント会場] フランス国立現代芸術センター・リュウ・ユニック
 [パリ会場] パリ市立アル・サン・ピエール美術館

共催：独立行政法人国際交流基金 JAPAN FOUNDATION

共同制作：フランス国立現代芸術センター・リュウ・ユニック
 パリ市立アル・サン・ピエール美術館

障害のあるメンバーを含む6団体による
 ステージパフォーマンスと6つのトークセッション。

文化庁 文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」

全国から集結！

優れたパフォーマンスが

（入場無料）

文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」

2019年2月8日(金)13:30- / 2月9日(土)10:00-
 びわ湖大津プリンスホテルコンベンションホール淡海10

障害者による優れた文化芸術を国内外に発信する総合推進事業 / 主催:文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会
 (構成団体は裏面)

障害のある人たちの文化芸術活動の未来を創る2日間。

鮮烈なパフォーマンス、また、文化芸術活動の可能性と未来について考察を深めるトークセッションを開催します。

Day1

2019.02.08.fri

13:30- オープニングセッション

「海を越えた障害者による舞台芸術

——フランス・ナントでの事例を振り返る」

基調報告

渡邊 芳樹(元駐スウェーデン日本国特命全権大使、元社会保険庁長官)

パネルディスカッション

丸山 英明(滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課長)

石川 公浩(島根県健康福祉部 障がい福祉課 療育支援グループリーダー)

谷 俊輔(鳥取県福祉保健部 ささえあい福祉局障がい福祉課 課長)

小松 誠一(長崎県福祉保健部 障害福祉課 総括課長補佐)

進行:渡邊 芳樹

15:00- ダンス



湖南ダンスワークショップ from 滋賀

フランス・ナント市での公演も成功させたダンスチーム。メンバーたちは、滋賀県で暮らす障害のある人たちとディレクターの北村成美、アシスタントのダンサーたち。一人一人の仕草や動きは、活力に満ちたダンスとして昇華され、ステージに唯一無二のパフォーマンスが立ち現れる。

演出・振り付け:北村 成美

演奏:小室 等、坂田 明、谷川 賢作、竹田 裕美子ほか

16:00- 即興音楽



音遊びの会 from 兵庫

2005年結成、知的な障害のあるメンバーを含む

アーティスト大集団「音遊びの会」。

神戸を拠点にワークショップを継続しながら、関西を中心に日本各地、北海道から九州まで公演多数。

2013年にはイギリス遠征も行い好評を博した。

また、その様子はNHKによって記録され三晩にわたって

放映された。楽譜や決まりごとはなし、演奏スタイルや

表現のジャンルを超えた自由な即興演奏を軸にした舞台は、

見る者を釘付けにすること間違いなし!

17:00- トークセッション

「日本のアール・ブリュットを海外に見る

——瑞・仏・尼で発見した、考えたあれこれ」

瀧澤 聡(日本・スウェーデン外交関係樹立150周年記念展覧会「アール・ブリュット—日本とスウェーデン」日本側キュレーター)

小林 瑞恵(「パリ東京文化タンデム2018 アール・ブリュット ジャポネII」日本側キュレーター)

北澤 潤(美術家/インドネシア「ときどき」展パートナーアーティスト)

進行:田端 一恵(社会福祉法人グロー企画事業部)

18:00- ダンス+トーク



森田かずよ from 大阪 + 北村成美 from 滋賀

義足の女優&ダンサーとして活動する森田かずよと湖南ダンスカンパニーのディレクター北村成美によるデュオ。身体や感情の差異、あるいは同調——

2人のダンサーがステージ上で交わすパフォーマンス

お見逃しなく!ダンス後は2人によるアフタートークも実施。

10:00- 研究フォーラム

「障害者による文化芸術活動の推進について」

杉浦 久弘(文化庁審議官)

内山 博之(厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 企画課長)

由布 和嘉子(滋賀県副知事)

進行:久保 厚子(2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク 会長)

11:00- 研究フォーラム

「バリアフリー演劇——研究の過程と成果」

廣川 麻子(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 理事長)

大河内 直之(東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員/NPO法人バリアフリー映画研究会 理事長)

浅野 佳成(東京演劇集団 風 芸術監督)

柴崎 美納(東京演劇集団 風 俳優)

進行:山上 徹二郎(バリアフリー演劇研究会 座長)

13:30- ダンス



湖南ダンスカンパニー from 滋賀

パリ公演決定!

湖南ダンスカンパニーから、障害のある人、ディレクター、支援者を含む7名のダンサーが、ピアニスト・谷川賢作を迎え、パリで実演するステージパフォーマンスを先行公開します。パリ公演は、日仏修好160周年を記念して実施される「ジャポニスム2018」の公式企画として行われます。

ダンス:後村 英治、太田 泰斗、北村 成美、田中 徹、苗村 世輝雄、筈井 正和、松尾 慎一郎
演奏(ピアノ):谷川 賢作

14:00- トークセッション

「光と音のない世界から音楽が生まれる」

福島 智(東京大学先端科学技術研究センター 教授/写真左)

小室 等(ミュージシャン/写真右)

「盲ろう」という障害のある福島智が創作した新曲の誕生に迫ります。同日21:30にアメニティーフォーラム23のプログラムとして開催される小室等ナイトコンサートでの新曲発表を控えた2人のプレトークセッションです。



Day2

2019.02.09.sat

15:00- 伝統芸能・石見神楽



いわみ福祉会・芸能クラブ from 島根

島根県西部地域に伝わる郷土芸能「石見神楽」を

障害のある人々と支援員らが演舞します。

いわみ福祉会・芸能クラブによるパフォーマンスは、2017年フランス・ナントでも行われ、称賛を受けました。

16:00- ダンス



NPO法人みやぎダンス from 宮城

年齢・性別・障害の有無などすべて不問。

「違いがある」ことで排除するのではなく、「違い」を

「多様性:個性」と捉え、すべてを「包み込む」社会の構築を

願う思いの下、ダンスという表現を通して活動を展開しています。

音楽フェスティバルなどにも出演し、活動の幅を広げています。

17:00- クロージングセッション

「障害のある人を中心としたパフォーマンス

グループをマネジメントすること」

飯山 ゆい(音遊びの会 代表)

北村 成美(湖南ダンスワークショップ ディレクター)

桑原 文寿(いわみ福祉会・芸能クラブ 副代表)

定行 俊彰(NPO法人みやぎダンス 理事長)

進行:西川 賢司(社会福祉法人グロー企画事業部)